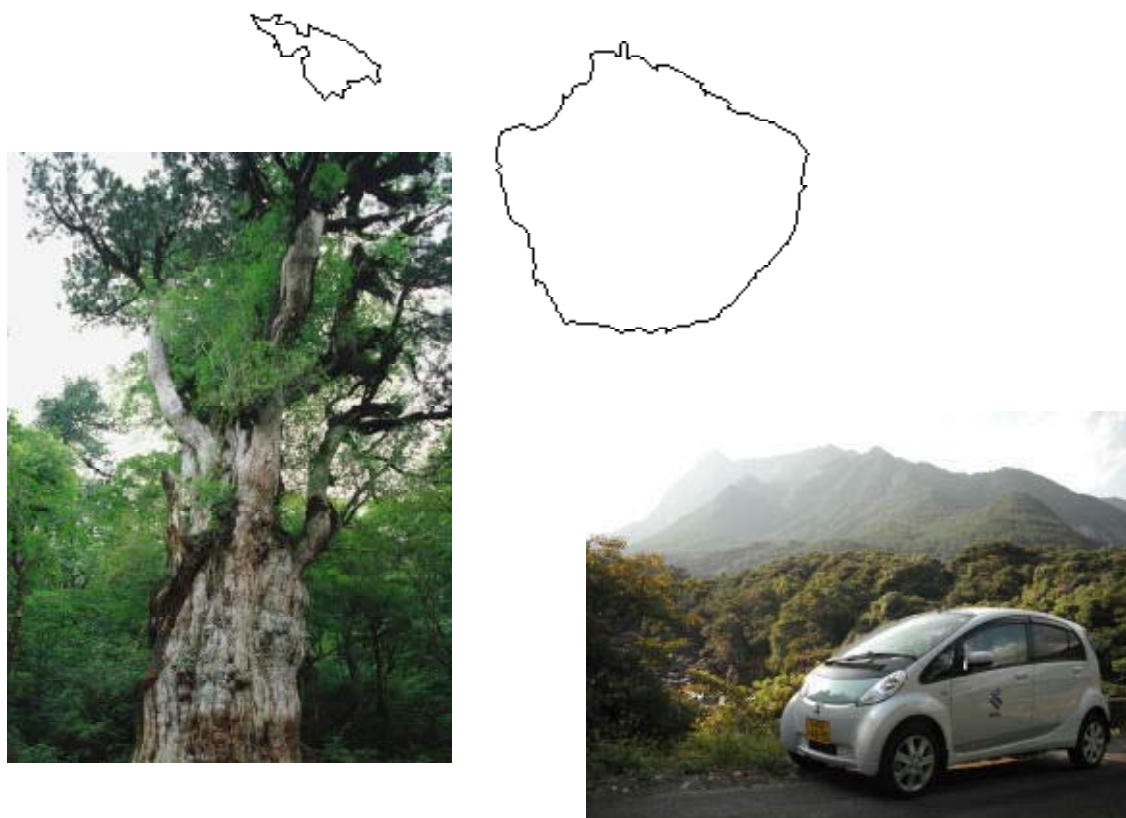


# 屋久島低炭素社会地域づくり構想

## 屋久島から減らしていこう CO<sub>2</sub>



平成22年3月

屋久島低炭素社会地域づくり協議会

## 1 目的

屋久島町は、世界自然遺産を有し、自然と共生し、環境に配慮した取組をおこなっている自治体であり、環境政策に町全体で取り組むため、環境基本計画、環境基本条例、地域省エネルギービジョンなどを策定している。

また、屋久島町で使用される電力は、ほぼ全てを水力発電でまかなっており、どの地域とも異なるエネルギー供給体系が確立されている。

このようなことから、低炭素社会づくりのモデル地域として、事業者・住民・行政が一体となって、化石燃料に頼らないCO<sub>2</sub>フリーの地域づくり、さらには観光地づくりの実現を目指し、情報発信を行うものである。

## 2 屋久島における二酸化炭素排出の現状

屋久島町においては、運輸部門による二酸化炭素排出が最も多くなっている。

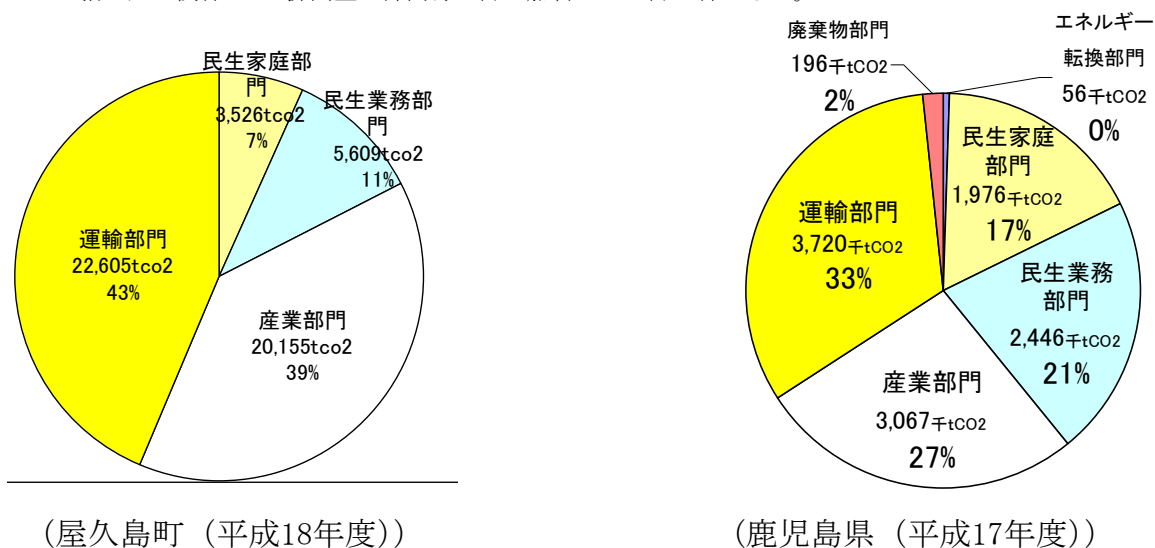
なお、屋久島で使用される電力は、ほぼ全てが水力発電によるものであることから、電力使用に伴う二酸化炭素排出はないものとして算出している。

平成18年度二酸化炭素排出量

消費量：千MJ, CO<sub>2</sub>排出量：t-CO<sub>2</sub>

区分	電力	ガス	石油	その他	計	計 CO <sub>2</sub> 排出量	H17県全体 (CO <sub>2</sub> 排出量)
民生家庭部門	254,186.1	33,885.0	22,130.1	10,655.2	320,856.4	3,526	1,976,000
民生業務部門	234,724.8	16,264.8	68,263.4		319,253.0	5,609	2,446,000
産業部門	2,292,749.6	1,054.2	287,951.1		2,581,754.9	20,155	3,067,000
運輸部門			332,853.9	519.2	333,373.1	22,605	3,720,000
計	2,781,660.5	51,204.0	711,198.5	11,174.4	3,555,237.4	51,895	
CO <sub>2</sub> 排出量		3,060	48,831			51,891	11,209,000

※出典：屋久島町のデータ：屋久島町地域省エネルギービジョン策定等事業報告書  
四捨五入の関係でCO<sub>2</sub>排出量の部門毎の計と燃料ごとの計は合わない。



### 3 削減目標等

化石燃料に頼らないCO<sub>2</sub>フリーの地域づくりを実現するために、屋久島低炭素社会地域づくり協議会として、以下のとおり、部門別に、削減目標を設定する。

部門	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	削減目標			削減後排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
		期間	削減割合	削減量(t-CO <sub>2</sub> )	
産業	20,155	短期	△ 6.1%	△ 1,239	18,946
		中期	△ 24.1%	△ 4,866	
民生家庭	3,526	短期	△ 14.9%	△ 527	2,997
		中期	△ 36.9%	△ 1,301	
民生業務	5,609	短期	△ 6.0%	△ 336	5,272
		中期	△ 24.0%	△ 1,346	
運輸	22,605	短期	△ 12.7%	△ 2,877	19,728
		中期	△ 42.6%	△ 9,630	
合計	51,895	短期	△ 9.6%	△ 4,979	46,943
		中期	△ 33.0%	△ 17,143	

※ 電力の取扱い

電力に係る排出量は0として算出しているが、電力に係る省エネルギーへの取組は積極的に行うことを前提としている。

※ 短期目標（2012年）

屋久島町地域省エネルギービジョンを基本としながら、省エネルギービジョンにおいて、電力に係るエネルギーのみ削減量として計上されている、産業・民生業務部門については、全体を考慮して削減割合を算定した。

※ 中期目標（2020年）

家庭・民生業務部門は、ガス・灯油類を使用する機器を電気製品に転換した場合の削減量を算出した。

運輸部門は、自動車について、ハイブリッド車や電気自動車への乗り換えによる削減量を算出した。

産業部門は、農林水産業・建設業の機械の燃費改善や、地域全体の電力使用の省エネによる火力発電所の稼働状況の削減を考慮して、削減割合を算定した。

### 4 取組の基本的な方向性

#### (1) 基本的な方向性

自主的な取組を促進するため、家庭、職場、行政ごとに、また、短期・中長期に分けて取り組む。

#### (2) 短期目標・中長期目標の考え方

短期目標については、低炭素社会づくりのモデル地域として、様々な団体や企業が地域に密着した一体的な取組により島全体の温室効果ガスの削減を図り、その取組を県内外に向けて情報発信するため、事業者・住民が、自主的かつ具体的に実践していく方策を掲げる。

中長期目標については、現状からの積み上げでは、十分な温暖化対策が図られないことも想定し、将来的な国等の補助事業の活用や、行政としての取組目標も加味し、すぐには実現できなくとも、将来的な実現可能性をもった内容とする。

## 5 具体的な取組方策

### (1) キャッチフレーズ

屋久島から減らしていこう CO2

(屋久島町立宮浦中学校 内田亜佑実さんの作品)

### (2) 分野別の取組方策

#### ア 「家庭」分野

① テーマ 「屋久島にやさしい暮らしの実践と提案」

② 取組方法

短期的には、省エネに対する意識啓発を進めるとともに、実践活動を通じた削減対策を推進する。

長期的には、家庭における取組事例の周知や、住宅の省エネ化・電気自動車の導入等を推進する。

③ 短期的に実現可能な取組（すぐに取り組めるもの）

- ・ライフスタイルの変革（生活様式の見直し）
  - … 環境家計簿を活用して、自らの二酸化炭素排出量の把握する。
  - … 冷暖房の適正温度管理，こまめな消灯を心がける。
  - … 地産地消を実践し，地元食材を活用する。



(環境家計簿)



(地元食材の購入)

- ・マイバッグ運動，マイ箸・マイボトル運動の展開
- ・生ゴミや廃食用油のリサイクル
- ・地元住民の公共交通機関利用の促進
  - … 島内バスを積極的に利用する。
  - … 小学校区内等の移動は，自転車等を活用する。
- ・エコドライブの実践

④ 中長期的な取組（取組に時間がかかるもの，費用がかかるもの）

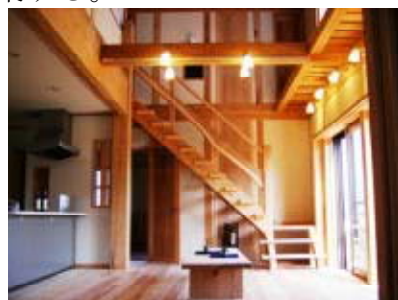
- ・住宅の省エネルギー化や省エネ家電の導入
  - … 太陽熱温水器，太陽光発電設備，断熱塗装，二重サッシなどを積極的

に取り入れる。

… 地元産の木材を利用した木造住宅を建築する。



(太陽光発電の設置)



(木造住宅の建築)

(主な助成事業)

・住宅用太陽光発電の導入補助※

国：7.0万円/kW，県：3.5万円/kWを助成する。

(連絡先：(財)鹿児島県住宅・建築総合センター 099-224-4539)

・住宅版エコポイント制度

①エコ住宅の新築で，一戸あたり，一律300,000ポイント

省エネ法のトップランナー基準相当の住宅 や省エネ基準(平成11年基準)を満す木造住宅基準の新築

②エコリフォームで，最大300,000ポイント

窓の断熱改修や外壁，屋根・天井又は床の断熱改修，バリアフリー改修

(連絡先：住宅エコポイント事務局 0570-064-717)

・家電エコポイント制度

統一省エネラベル4☆相当以上の省エネ性能の高い「地上デジタル放送対応テレビ」，「エアコン」，「冷蔵庫」のグリーン家電の購入により，様々な商品・サービスと交換可能な家電エコポイントが取得できる。最大36,000ポイント

(連絡先：グリーン家電エコポイント事務局 0570-064-322)

・エコカーの導入

… ハイブリッド自動車，電気自動車などへ買い替える。



(電気自動車)

(参考)・かごしま低炭素社会モデル創造事業(屋久島)

[電気自動車及び充電器導入に係る助成]

電気自動車補助 50台(1,390千円以内/台)

充電器補助 25台(補助率1/2, 150千円以内/台)

※太陽光買取制度(48円/kWh)の適用や深夜電力の設定などの面で課題がある。

## イ 「職場」分野（産業・業務部門）

① テーマ 「屋久島の環境に配慮した経済の確立と新たな環境産業の創出」

② 取組方法

短期的には、省エネに対する意識啓発を進め、実践活動を通じた取組を推進する。また、屋久島の9割を占める森林の間伐等森林整備・保全により、森林吸収源対策を実施する。

長期的には、事業所ごとにCO<sub>2</sub>排出量を把握し、削減目標を定め具体的な取組を推進するとともに、森林整備等を通じたカーボンオフセットの取組によるオフセットの考え方の普及を図る。

③ 短期的に実現可能な取組（すぐに取り組めるもの）

- ・ 事業所毎にCO<sub>2</sub>削減目標を定め、目標達成に向けた省エネ活動を実践  
… 従業員への環境教育を実施する。
- ・ 環境にやさしい事業展開  
… 使用済み資材は、リサイクルを積極的に行う。  
… オフィスでは、木材製品を利用する木づかい運動に取り組む。
- ・ 公共交通機関利用の促進  
… 通勤時には、島内バスを積極的に利用する。  
… 近距離への移動は、環境に負荷をかけない自転車等を活用する。

（主な助成事業）

- ・ エコ通勤普及推進事業 [エコ通勤モデル事業] (H22新規事業)  
エコ通勤を積極的に進める「CO<sub>2</sub>ダイエット作戦宣言事業所」  
に駐輪場整備及び通勤用自転車購入経費の1/3を助成。

（通勤を自家用車から自転車等へ切り替える者が10名以上見込まれること）



- ・ エコドライブ・アイドリングストップの実践促進  
… エコドライブ講習会などへの参加によるエコドライブ技術の習得
- ・ 間伐等の実施による適切な森林の整備

④ 中長期的な取組（取組に時間がかかるもの、費用がかかるもの）

- ・ 事業所毎にCO<sub>2</sub>削減目標を定め目標達成に向けた省エネ活動を実践  
… 省エネ診断の受診  
… ISO14001やエコアクション21などの環境マネジメントシステムの導入  
… 省エネ設備・機器の導入

（主な助成事業）

- ・ CO<sub>2</sub>削減省エネ設備導入促進事業  
民間事業者等が、太陽光発電・LED照明などの省エネ設備を複合的に導入する際の経費の1/3を助成。

- ・ ボイラー等を木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを活用した設備

への転換

… 農業用ハウス，温泉施設，宿泊施設等のボイラーを再生可能エネルギーを活用した設備に更新する。

- エコカーの導入

… ハイブリッド自動車，電気自動車などへの買い替えを促進する。

- 山岳シャトルバスのエコカーへの転換

- 商品等におけるCO<sub>2</sub>の見える化への取組

- カーボンオフセットの実施

… 事業活動に伴って排出されるCO<sub>2</sub>について，森林整備や再生可能エネルギー利用によりカーボンオフセットを実施する。

… 観光客が島内観光時に排出するCO<sub>2</sub>を埋め合わせるカーボンオフセット商品を開発する。



(森林整備)

## ウ 「行政」分野

① テーマ 低炭素社会モデル地域「屋久島」の情報発信

② 削減目標

短期的には，住民への普及啓発に努め，環境教育やエコドライブ講習会等を通じた取組を推進するとともに，町の施設等において自ら削減対策に取り組む。また，屋久島の9割を占める森林の間伐等森林整備・保全により森林吸収源対策を実施する。

長期的には，住民と一体となった温暖化防止活動への取組や，温暖化対策に取り組む屋久島を世界へ情報発信する。

③ 短期的に実現可能な取組（すぐに取り組めるもの）

- 普及啓発

… 地球温暖化や省資源・省エネルギーについて町民に積極的に情報提供を行う。

… 国の補助事業等の普及啓発を図る。

… 二酸化炭素吸収源としての森林に関して，町民に積極的に情報提供を行う。

… 電気自動車を活用した環境に関するイベントを実施する。

… 町内での取組について県内外へ情報発信を行う。

- 取組支援



… 学校や地域に対して、環境教育(温暖化防止の講習会等)を実施する。



(電気自動車を活用した環境教育)

- ・ 庁舎におけるCO<sub>2</sub>排出量の把握及び削減対策への取組
- ・ エコカーの導入
- … 可能な限り、公用車の電気自動車への更新を推進する。

#### ④ 中長期的な取組（取組に時間がかかるもの、費用がかかるもの）

- ・ 地域における指導者の育成
- ・ 取組支援
- … 省エネルギー・再生可能エネルギー設備導入等に対して助成を行う。
- … 温暖化防止活動に対して、取組を支援する。
- … 温暖化防止に寄与するとともに森林整備等を促進するカーボンオフセットの取組を推進する。

(県の取組)

- ・ かがしまエコファンド（仮称）導入検討事業（H22新規事業）  
県民や事業者などの自発的な温室効果ガスの排出削減の取組を促進するため、自ら削減できない排出量について森林整備等によりオフセット（埋め合わせ）する仕組みを検討する。

## 6 取組スケジュールと今後の取組方向

5の「③ 短期的に実現可能な取組（すぐに取り組めるもの）」については、平成22年度からすぐに取り組むこととし、協議会が中心となりフォローアップをおこなう。

「④ 中長期的な取組（取組に時間がかかるもの、費用がかかるもの）」については、協議会の中で議論し、必要に応じて見直しを行うとともに、実現可能性を議論していくこととする。



## 参考 屋久島における低炭素社会地域づくりの体系

地域における自発的な取組を中心に、これまでの取組を継続・発展させ、行政が実施する事業とも連携を図りながら、低炭素社会を実現し、県内外へ情報発信する。

